

取付説明書(KD-SH99)

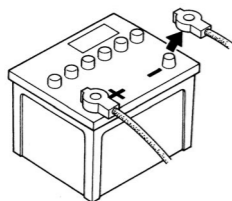
JVC

安全上のご注意

—はじめにお読みください。—

取り付ける前に

- 作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーの^{マイナス}端子のコードを外しておいてください。

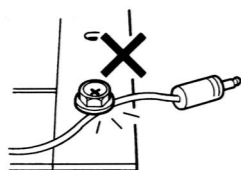


- 安全運転のため運転の妨げにならないところに、また本機の放熱効果が十分発揮されるようなところに取付けてください。

- 取り付ける前に仮接続をして本機が正しく動作するか確認してください。

- 取り付けは必ず付属の部品(ネジなど)を指定通り使用し、しっかり固定してください。指定以外の部品を使用しますと内部の部品がこわれたり、ゆるんで外れたりすることがあります。

- ネジやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようにご注意ください。



- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないようにご注意ください。

- 取り付けが困難な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

- 車種によっては、コンソールボックスなどに取付けるとき、取り付けキット(別売り)を必要とすることがあります。この場合の取り付け方は、取り付けキットの説明書をご覧ください。なお、インコンソールに取り付けができない車種もありますので、お求めの際、ご自分の車種・年式に適合するかお買い上げの販売店でお確かめください。

ご注意

- 取り付け金具(車のブラケット)を本機に取り付ける際は、必ず付属のネジ(長さ6mm)をお使いください。6mm以上のネジを使用しますと故障の原因になります。
- 本機を取り付けるときは、水平な場所を選びパーキングブレーキをかけ、エンジンキーを「OFF」にしてから行ってください。
- 本機は、DC12V マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。
- 配線をするときは、車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流容量オーバーにより火災の原因となります。

取り付け方法

- 純正のオーディオを外す
- 本機に純正の取り付け金具を取り付ける
- 接続する(裏面を参照)
- 車両に固定する

イラストはトヨタ車の一例です。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

アース線を車体の金属部分に確実に接続してください。

※車の金属部分についているネジを使用してください。

塗装してあるときは、はがしてください。

取り付け用付属ネジ ①または②

純正の取り付け金具

ポケットなどを外したときのネジ

1.で外した純正ネジ

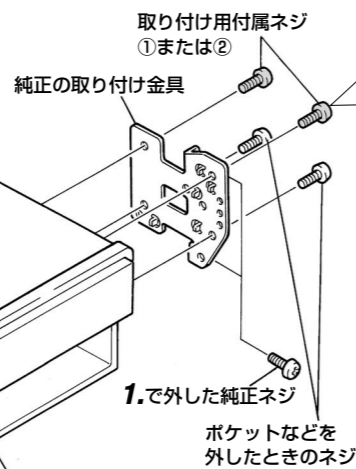
必ず、本機の下に取り付けてください。

必ず、本機の下に取り付けてください。

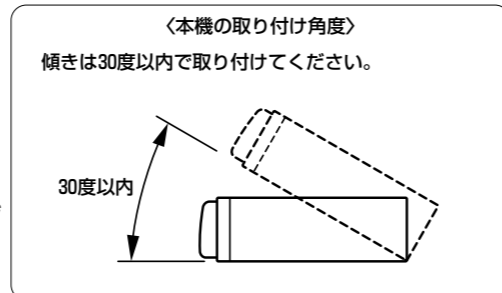
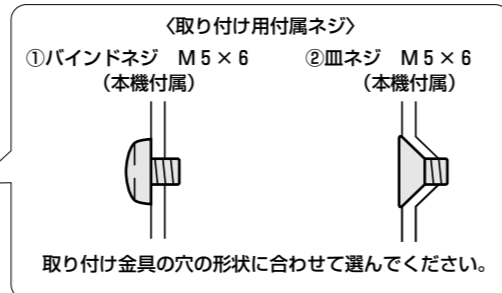
ご注意

必ず、本機の下に取り付けてください。

必ず、本機の下に取り付けてください。



3. 接続する(裏面を参照)



- 外したネジ類は紛失しないように大切に保管してください。
- 取り付け金具のツメがじゃまになるときは、折り曲げて平らにします。

警告

- 本機はDC12V マイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

- 配線作業中は、バッテリーの^{マイナス}端子のコードを外してください。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にお止めください。



・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

- 本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。



・交通事故やけがの原因となります。

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



・交通事故や火災の原因となります。

- 車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

- 車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・事故の原因となります。

注意

- 本機取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。



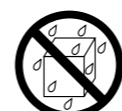
・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火・故障の原因となります。

- 振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。



・外れて事故やけがの原因となります。

- 本機を不安定なところに取り付けしないでください。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

- 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正しく動作することを確認してください。

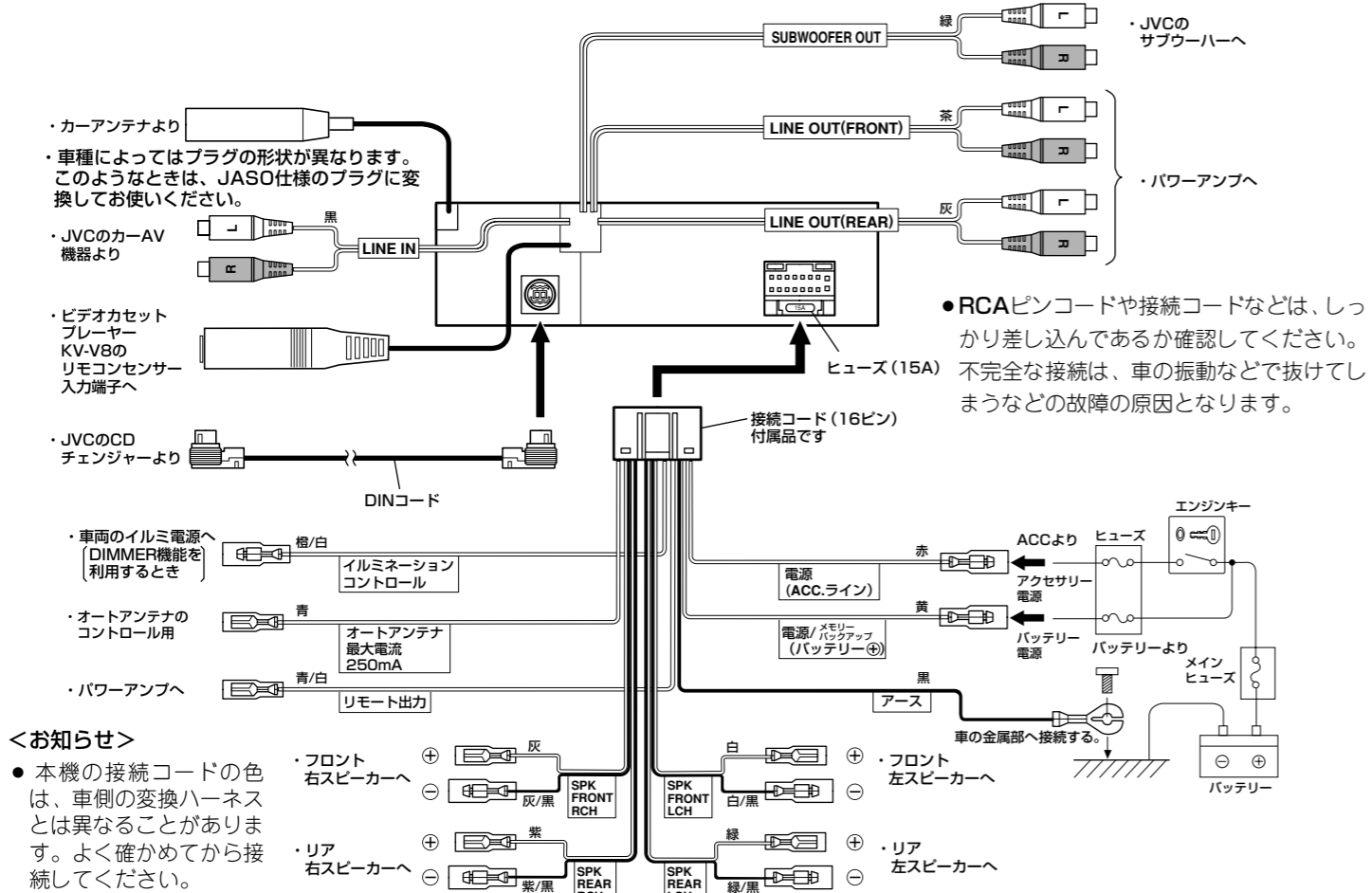
- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。



・断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

接続のしかた —必ずお読みください。—

基本の接続 — 4スピーカーシステムの接続例 —

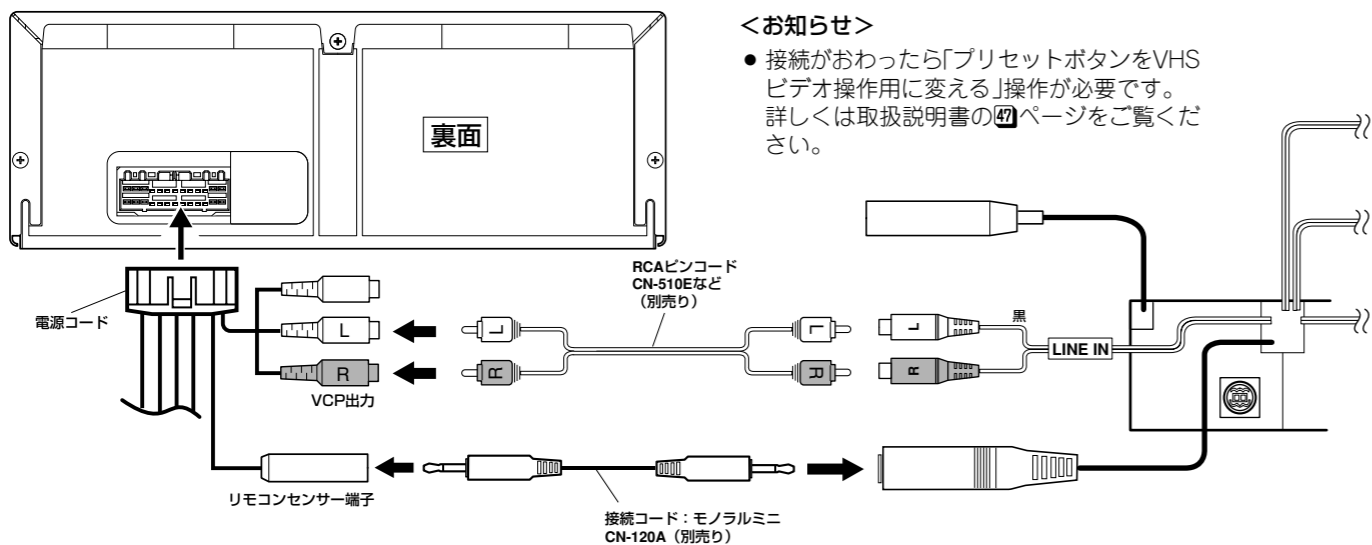


<お知らせ>

- 本機の接続コードの色は、車側の変換ハーネスとは異なることがあります。よく確かめてから接続してください。

システムアップする場合 — 取り付けが終わったら各機器で、リセットの操作をしてからお使いください。 —

● モバイルビデオカセットプレーヤー (KV-V8) との接続



<お知らせ>

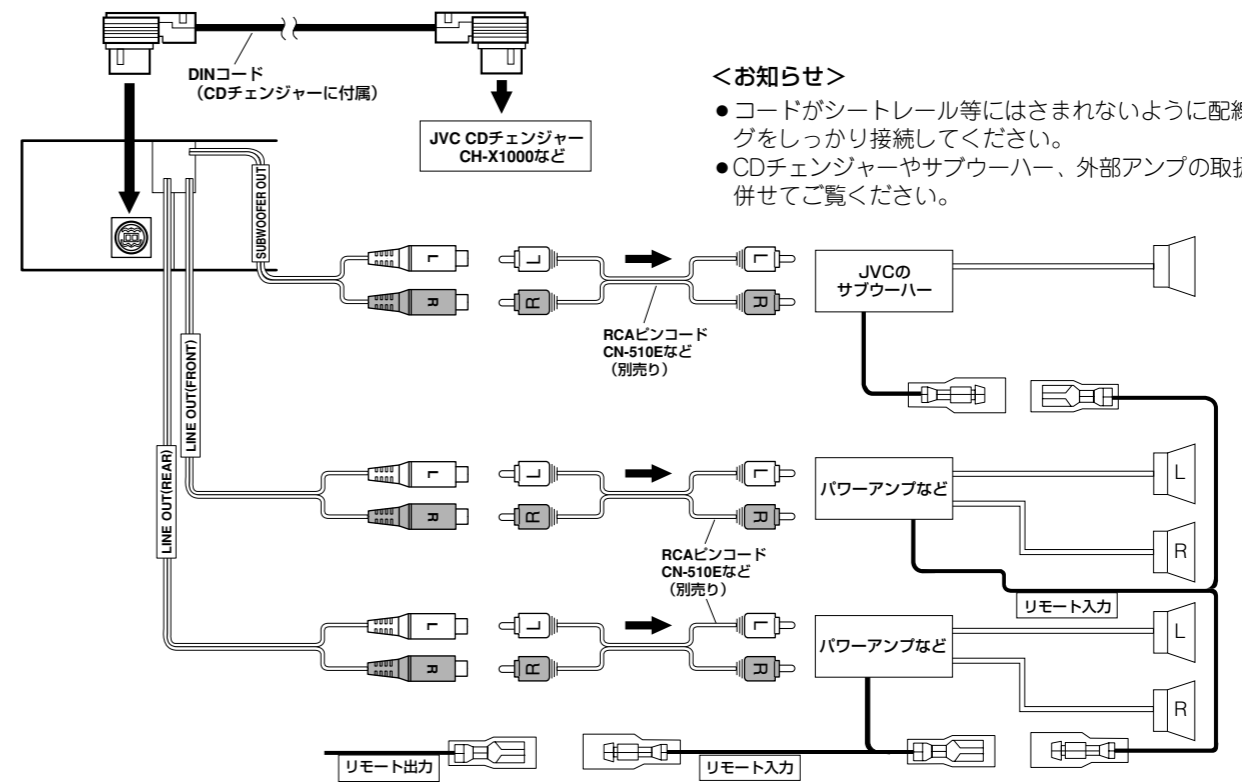
- 接続がおわったら「プリセットボタンをVHSビデオ操作に変える」操作が必要です。詳しくは取扱説明書の47ページをご覧ください。

接続が終わったら

マイナス

- 外しておいたバッテリーの⊖端子のコードを元のように接続し、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどの電装品が正しく動作するかお確かめください。

● CDチェンジャー、サブウーハーおよび外部アンプとの接続



<お知らせ>

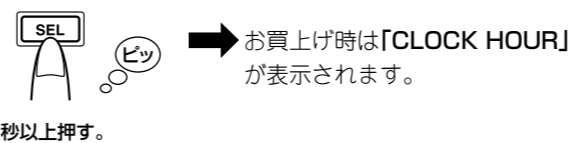
- コードがシートレール等にはさまれないように配線し、プラグをしっかり接続してください。
- CDチェンジャーやサブウーハー、外部アンプの取扱説明書も併せてご覧ください。

市販のパワーアンプだけで鳴らす

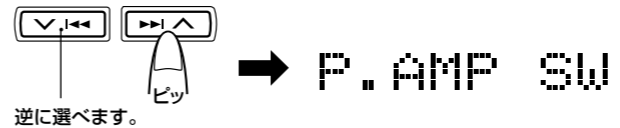
本機は、内蔵パワーアンプの「ON↔OFF」が選べます。内蔵パワーアンプを「OFF」にすると、発熱量が抑えられクリアな音を楽しむことができます。

外部アンプの接続が終わったら、電源を入れ次の操作をします。

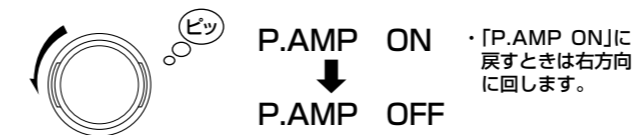
1 SELボタンを2秒以上押す



2 P. AMP SW (または P. AMP SW) ボタンを「ポン・ポン」と押し て「P. AMP SW」を選ぶ



3 回転ボリュームを左方向に回して「P. AMP OFF」にする



4 SELボタンを押す

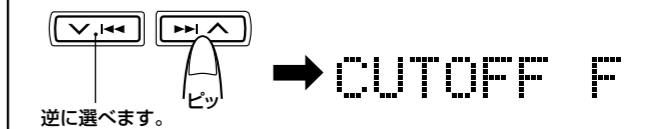
・元のソース (音源) 表示に戻ります。

サブウーハーのカットオフ周波数を切替える

サブウーハーを接続したときは、低音が最も豊かに聞こえるようにカットオフ周波数を切替えます。お買い上げ時は、「FREQ MID」に設定されております。

1 SELボタンを2秒以上押す

2 CUTOFF F ボタンを「ポン・ポン」と押し て「CUTOFF F」を選ぶ



3 回転ボリュームを回してカットオフ周波数を選ぶ



4 SELボタンを押す

・元のソース (音源) 表示に戻ります。